

◆研究3【家庭学習】の実践イメージ

※新規：日常的な持ち帰りと課題内容

※新規：家庭における協働学習の可能性

→個別学習の課題内容と協働学習の課題内容

→家庭学習ノート調べ業務・添削業務の軽減

①**基礎・基本の定着**：家庭学習ノートとタブレット端末（デジタルドリル等）を組み合わせた漢字、計算指導等

※長期休業中のタブレット端末の活用状況調査

②**家庭学習から授業に繋ぐ展開**：タブレット端末の持ち帰りによる家庭での予習からの授業（反転授業）

③**その他**：不登校、学級閉鎖など「学びの保障」への対応

自作の家庭学習ノートとデジタルのよさを組み合わせた5つの家庭学習



本校では2年以上のすべての学年・学級で自作の家庭学習ノートを活用した家庭学習を行っています。**家庭学習では、家庭学習ノート(アナログ)とタブレット端末の持ち帰り(デジタル)による課題(調べ学習やデジタルドリル等)との併用をしながら、バランスよく活用することを研究しています。**子どもたちにしっかりと基礎基本(漢字の読み書き、計算等)を身に付けるためには家庭学習ノートがとても有効です。その一方で担任の先生方は、一人一人の家庭学習ノートをきめ細やかに添削するのにとても時間がかかり、中には2冊体制にして自宅に持ち帰って添削している先生方もいます。**基礎的な学力を落とさずに、しかも先生方の添削業務の軽減、持ち帰り業務の改善につながるような家庭学習のあり方について明らかにしていきたいと考えています。**5つのパターンを想定して実践検証しています。